

加古川平成ロータリークラブ

会 長 鈴木 勝博
 幹 事 山本 裕一
 広報小委員長 高田 誠徳
 2680地区ガバナー 矢坂 誠徳



例会日/毎水曜日 12:30~13:30・例会場/加古川商工会議所会館 4F
 事務局/加古川市加古川町溝之口 800 加古川商工会議所会館 5F
 Tel. 079-422-8000 FAX. 079-422-8100
 ホームページ <http://www.k-heisei-rc.com/> Eメール heiseirc@basil.ocn.ne.jp

2024~2025 年度 RI 会長 ステファニー A.アーチャ

No. 1580 November 8、2024

例会プログラム

第 13 回 (11 月 8 日)

6 日 (木) 12 時 30 分~に変更

「ガバナー公式訪問」

矢坂 誠徳ガバナー

例会当番 網本

次週例会プログラム

(11 月 15 日)

卓話

「寄付・シェアシステムについての話、
他」

地区ポリオプラス小委員会委員長
榎 誠氏

次週例会当番 井上

前週例会報告

◇ ゲスト

◇ ビジター

◇ 出席率 前週 会員数 15 名 出席数 8 名 出席免除 2 名 欠席数 5 名
 前々週 会員数 15 名 出席数 6 名 出席免除 2 名 欠席数 7 名

◇ 欠席者 5 名 網本 金川 柴田 高田 原田

◇ メークアップ 2024 年 9 月 30 日 第 6 回ロータリー財団委員長会議 榎
 2024 年 10 月 12 日 第 4 回ロータリー財団 3 合同小委員会 榎



★ 会長と友人

★ RI より、バナー贈呈

★ 卓話 榎会員

会長の時間

会長 鈴木 勝博

ロータリー財団の概要について

1 ロータリー財産は、1917年に基金として発足し、1928年国際大会でロータリー財団と名付けられ、1931年に信託組織となり、1983年に米国イリノイ州の法令の下に非営利財団法人となった経緯を持ちます。

2 その使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることにあり、現在までに慈善団体として多くの国にて非常に高い評価を受けています。

3 ロータリー財団の取り組みのなかでも大きなものとして、ポリオプラスがあります。ポリオプラスの目標は、ポリオ撲滅の世界的証明を実現させることであり、撲滅が証明されるまで、ロータリアンが、常に最新情報を把握し、活動に関与していくことが予定されています。そして、その取り組みは過去大きな成果を挙げ、ポリオ撲滅の世界的証明の実現に近づきつつあります。

4 一つの大きな感染症を撲滅することは革新的なことです。ポリオで苦しむ方がいなくなる世界を目指して、皆様ご寄付のほどよろしくお願い申し上げます。

以上

本日の幹事報告

※ 例会欠席の時は必ず事前に事務局へ連絡！

- ① 高砂RC例会変更のお知らせ
12月27日(金)→休会【定款第7条第1節(d)による】
- ② Boxに公式訪問報告書を入れております。

11月度理事・役員会報告

I 協議事項

- 1) 12月プログラムの件
12月6日(金)：年次総会(被選会長指名・理事選挙) 榊 誠例会担当小委員長
12月13日(金)：例会取消〔定款第7条第1節(d)〕 山本 裕一幹事
12月20日(金)：21日(土)18時からに変更 「忘年家族例会」 親睦委員会
12月27日(金)：例会取消〔定款第7条第1節(d)〕
承認
- 2) 次々年度被選会長及び幹事、理事選挙の件
日程調整中
- 3) 忘年家族例会の件
11/15に案内を配布する
- 4) 加古川3ロータリークラブ間での週報回覧の件
現状維持
- 5) その他
会員維持増強の為の夜会を開催 日程調整メールにて確認予定

II 報告事項

- ① 11月度ロータリーレート 1\$ = 153円(現行142円)
- ③ 10月度累計欠席連絡状況 電話：0 メール：4 fax：0 出欠表：6 なし：4

SONG TODAY

加古川平成ロータリークラブ歌

作詞；平松弘光 作曲；平松愛理

大空を心に描き

昇る日は世界を結ぶ

人と人共に歌おう

とこしえ
永久の友情誓い

瀬戸内の加古の里から

呼びかける平成ロータリー

平成ロータリー

クラブ会報・雑誌
記録小委員会



ロータリー、ガザでのポリオ対応に資金援助

物資、資金、ボランティアでクラブがサポート



ハリケーン「ヘレン」と「ミルトン」の被災地をロータリー会員が支援

「すでにあった混乱に、さらに大きな混乱がのしかかった」

フロリダ州を連続して直撃した二つのハリケーン後の悲惨な状況について、ケルシー・ミッチェルさん（第 6960 地区ガバナー）はこう語ります。「洪水被災地での復

旧作業を中止し、ハリケーンに備える準備に戻らなければなりませんでした」

9月末に米国南東部を襲ったハリケーン「ヘレン」の被災者のため多くの地区が支援にあたり、ミッチェルさんの地区もその一つでした。ハリケーン「ミルトン」が去った現在、会員たちは再び救援活動を開始しています。

「地元団体と協力して、最も深刻な被害を受け、助けを必要としている地域を特定しています」とミッチェルさん。「既に州レベルでの災害対策委員会を設置しました。州内の地区ガバナーが毎月会合して災害の準備を行ってききましたが、連続ハリケーンの後にはほぼ毎日顔を合わせています」

10月9日にフロリダ州に上陸したハリケーン「ミルトン」は、カテゴリー3の威力がありました。そのわずか数週間前、カリブ海、メキシコ湾、米国東海岸の一部をカテゴリー4のハリケーン「ヘレン」が襲い、大雨による大洪水を引き起こしたばかりでした。米国フロリダ州、ジ

ジョージア州、ノースカロライナ州、サウスカロライナ州、テネシー州、バージニア州での死者数は 250 人を上回り、ケイマン諸島、キューバ、ホンジュラス、メキシコを含むほかの国と地域も洪水に見舞われました。

セミノールレイク・ロータリークラブ（フロリダ州）の会員、サンドラ・リロさんの自宅は幸い無事でした。

「私が住む通りにある 80 棟の家のうち、78 棟が浸水しました」とリロさん。「近所の家では 1.2 メートルの高さまで浸水し、ほとんどの家で 60~90 センチの泥が溜まっています」

この災害を受け、米国南東部全域のロータリー会員たちが、即座に義援金、物資、ボランティアなどの支援に乗り出しました。かろうじてハリケーンの被害を逃れたジョージア州のアルファレッタ・ロータリークラブもその一つです。

「必要物資のリストを作り、クラブ会員が仕事で使っている大型トラックで近隣の数クラブを回って物資を集めました」と、同クラブ会長のジェフ・デビスさんは話します。トラック一杯に詰め込まれた物資は、ノースカロライナ州にある物資収集所まで運ばれました。このクラブはさらに、発電機の購入資金を集めるための募金活動も行いました。フロリダ州では、多くのロータリークラブの会員が、洪水で水浸しになった壁や床の除去を手伝っています。

「カビが発生しないよう、濡れているうちにできるだけ早く除去する必要があります。そうしないと、家全体にダメージが及んでしまいます」とハロックさんは言います。

ダニーディン・ノース・ロータリークラブ（フロリダ州）も、引っ越し用大型トラックをレンタルし、シャベルや熊手、飲料水、ゴミ袋、濡れたカーペットを切るためのナイフなど、トラック一杯の寄贈物資を収集しました。被災した住民がこれらの物資を受け取ることができるよう、4カ所に物資配給所も設置しました。

「私たちがロータリアンたる理由は、ここにありますが」と話すのは、マーク・ミドルトンさん（ダニーディン・ノース・ロータリークラブ会員、地区ガバナーノミニー）です。ミドルトンさんのクラブでも、会員 5 人の自宅が被害を受けました。

「複数のクラブの会員が、浸水被害を受けた家に出向き、泥や壁・床の除去を手伝っています。壁は、浸水ラインよりも高いところからはがす必要があります」とミドルトンさん。「手伝うことができよかったですと思います。このような助けあいの活動を通じて、ロータリーファミリーの絆が深まります」

これらのハリケーンの被災地への食料、医薬品、必要物資を提供するため、ロータリー財団から 3 件の災害救援補助金（各 25,000 ドル）が支給されました。多くのロータリークラブが物資や資金を集め、現地の復旧支援をしています：